

吟剣詩舞道部会

吟詠、剣舞、詩舞の三部門により構成されている部会です。共通しているのは詩吟により結ばれています。

独特の旋律(節調)で漢詩、和歌、現代詩等を詠いあげる吟詠(詩吟)。主に剣や槍を携えて舞う剣舞。扇を携えて舞う詩舞。個々の舞台良し、また、コラボ良し。

居合道部会

『一刀で相手(敵)を制す』それが居合です。

居合はもともと剣の技であるが、現代における修行の目的は「正しき刀法をこころがけ己が精神の練磨をなす」ことにあります。

この居合を「ふれあい体験教室」などを通じて、皆様に体験参加を企画実施しております。ぜひ体験してみてください。

民謡民舞部会

チョイト知って民謡!!

民謡とは生活の中から生まれ育てられてきた唄である。好きで下手で飽きないをモットーに楽しく明るい民謡民舞会であります。「上手もあれば下手もある、みんなここさ来て唄って踊ってみれ、なかなか思うようにいかねえもんだ」

唄う事、健康に最適。

富士見支部

富士見支部独自の文化祭(11月)は、コロナ禍で舞台芸能部門は無理でも展示部門だけは実行しようと決定しました。昨年は、協会誌「ふじみ」発行だけの活動になってしまい、今年はこの文化祭をきっかけにして停滞した活動の再出発にしたいと願っています。

演劇部会

演劇部会は、劇団「ペルソナ館」と劇団ザ・マルク・シアターの2団体からなります。子どもから大人まで幅広い世代の会員が所属しており、独自に発表会などを開催しております。

大胡支部

旧大胡町文化協会は、1977年に発足した。2005年、合併後は、前橋市文化協会大胡支部として活動している。これから活動をとおして会員の心豊かで生き甲斐のある人生を実現し、支部として常に前向きに一人ひとりの力を合わせて継続発展につなげていきたい。

粕川支部

前橋市文化協会粕川支部の会員減少が止まりません。新規会員が増えない状況で会員の高齢化が進み、新型コロナウイルス感染症の拡大防止から、思うような活動が持続できず、発表・展示の機会も中止に追い込まれています。歴史ある粕川支部の文化活動に活気が戻るよう、粕川支部の活動を見守り支えていきたい。

広げ深めよう 化の輪!

ここが魅力!

日本の名曲を踊る部会

「40周年記念のつどい」に出演させて頂くことになりました。日本舞踊を目にされる機会も少なくなったこの頃かと思います。私達の会では皆様の耳にした曲を踊ります。是非ご覧頂き命の洗濯をしてください。お待ちしております。

日本舞踊部会

前橋市文化協会創立40周年記念の催しで箏曲・舞踊・吟剣詩舞とのコラボ「四季の彩」と云う事になり、箏曲八千代獅子で出演者は、直派若柳流若柳茂駒他1名様で踊ってくださいます。

現在、日本舞踊部会加入12社中の先生で活躍しております。令和4年度に望みを託します。

川柳部会

前橋川柳会は昭和55年に設立、以来40余年会員の作品発表の場として月刊「川柳まえばし」誌を発行。月例会や年一回の川柳大会等の作品を掲載。人間や日常を自ら目で思いで直視して、17音字の話言葉で表現する庶民的な川柳。人間を深堀して楽しんでもみませんか。

自然趣味部会

世界中に『BONSAI』として広がっている『盆栽』ですが、「40周年記念のつどい」では、春を感じさせる梅の花や五葉松・真柏など古木の趣を感じていただきたく出展します。絵画や書道などの作品とあわせて鑑賞をお願いします。

漢詩部会

人間の感情を詩に賦す根本となるものは喜怒哀楽愛怨の六情に集約されると思います。怒や哀や怨のような楽しみと正反対な事も詩に纏めれば詩情となって流露、昇華して楽しみとなります。これが漢詩作りの妙味であります。作品に人生の機微を感じて戴ければ幸いです。

短歌部会

前橋歌人クラブでは、親睦と学習のために「市民短歌大会」や「短歌作品展示会」を行っています。

あなたも会員になりませんか。そして、日頃の心のつづやきを短歌にしてみませんか。

民族舞踊部会

民族舞踊部会は、フラが好きで楽しく踊るグループです。現在13グループで活動しております。年齢も幅広く、どなたでも気軽に参加できます。また、美しいドレスで明るいハワイアン風の曲に合わせ踊る舞台は、楽しく気持ちを前向きにしてくれます。健康にも適したフラを続けたい。

今こそつなぎ 前橋文

文化活動、



対談

清水会長 × 山本市長

創立40周年

記念のつどいの開催と これからの文化協会の役割

前橋市文化協会は、昭和56年11月3日（火）に発足し、本年度、創立40周年を迎えました。この節目の年に当たり、令和4年1月29日（土）、30日（日）に昌賢学園まえばしホール（前橋市民文化会館）を会場に「創立40周年記念のつどい」が開催されることになりました。

そこで、令和3年10月21日（木）前橋市役所4階応接室において、前橋市文化協会名誉会長をお務めいただいている山本 龍前橋市長と清水和夫前橋市文化協会会長に記念事業の開催やこれからの文化協会に期待される役割などについて語り合っていました。

※「創立40周年記念のつどい」は、新型コロナウイルス・オミクロン株の感染拡大によって、令和5年3月25日（土）～27日（月）に延期されました。

コロナ禍の文化活動

会長 昨年から続くコロナ禍で文化協会では、多くの活動や展示、舞台発表の場が失われ厳しいものがありました。しかし、文化活動を継承し、また元気に活動したいという会員のみなさんの思いや姿勢は少しも変わっていません。展示や舞台発表では、感染対策を徹底して開催したところ、大勢の方々にお越しいただきました。やはり人の交流が文化の基本であって、お互いに深め合い、高め合って、豊かになっていきたいという思いをだれもがもっているのだと改めて知らされました。この先、コロナ禍の落ち着き具合を見ながら活動を再スタートさせていきたいと考えています。

市長 期待しています。コロナで多くの活動が縮こまってしまったのは、とて



文化振興基本方針の 具体化

も残念に思っています。これまで文化というものは、人とのつながりの中で結び付き、変化を続け、いろいろな学びを作り合ってきたのに、コロナ禍においては、人と結び合うことがなかなかできなかったように感じます。でも、さまざまな文化の根底にあるのは、歴史にしても芸能にしても音楽にしても、みんなのつながりであると思いますから、そこが崩れたとは、私は思っていないません。もう一度、みんなで手を取り合っていこうというメッセージを今年は発信できるよう準備を始めたいと思っています。

会長 前橋市では今年3月に文化振興基本方針が策定されましたが、そこに示されている4つの視点をしっかりとらえ、それを具体化していくのが私たちの仕事であると考えています。この基本方針に沿いながら新たな取り組みを含めて頑張っていきたいと思っています。

市長 そこは、文化協会の力が必要です。もともと文化というものは、お弟子さんに継承する、共同研究する、だれかと一緒に舞台に立つというように一人の力で進んできたものではないでしょうか、みんなで手を伸ばしているのですよというメッセージを文化協会から出していただくことで、おもしろいことが起こるのではないのでしょうか。

会長 ありがとうございます。今、市長さんがおっしゃっ

てくださったことを創立40周年記念事業の中で若い人たちも含めて広く市民の皆様に広げていきたいと考えているところですが、特に文化振興基本方針で示されている四つ目の視点、「つながる・つなげる」に重点を置いて、そこを具体化していくことが大事だと考えています。

市長 この記念事業は、ちょうどよいチャンスになるかもしれませんね。

ゲストステージに 寄せて

会長 それで、創立40周年記念事業では、ゲストステージとして、詩のまち前橋の文化に即して萩原朔太郎と高橋元吉の交流を取り上げます。そこで、ぜひと

いうことで、萩原朔太郎の孫、萩原朔美さんと、高橋元吉の曾孫、高橋在也さんの対談が実現します。

市長 時空を超えると



市長 すごい企画ですね。令和4年は、前橋市も市制施行130周年を迎え、市としても、いろいろな機会を捉えながらみんなが結び合うメッセージを発信するきっかけを作っていきたいと思っていますので、1月に開催する記念事業の意義は大きいですね。

コラボステージに 寄せて

会長 はい。実はもう一つ、

「つながる・つなげる」という観点から私たち自身の活動をあらためて見直そうという趣旨で、今までの市民芸術文化祭では、それぞれの部会が個別に発表を行ってきたのですが、創立40周年記念事業では、邦楽と日本舞踊と吟剣詩舞道といった3つの部会がコラボしたステージが実現します。このような企画は、今までなかなかできなかったのですが、これからは、やはりコラボをして、その中でお互いの芸術の楽しさやすばらしさというものを共有していくことが大切ではないかと考え、今回のステージが実現することになりました。共有して見合う、鑑賞し合うということの大切さがあらためて認識できていると考えています。



第3章 大切にしていこう視点と具体的な取り組み

1 文化振興のために大切にしていこう視点

2章で示した本市における文化振興をめぐる課題を解決し、前橋文化の創造及び文化を基盤としたまちづくりを実現（文化振興条例第1条 目的）するために、本方針では、文化振興条例における5つの基本理念と第七次総合計画における3つの行動指針を踏まえて、以下の4つの視点を柱として具体的な取組を推進していきます。

【視点1】

「守り・伝える」視点を大事にしています。

⇒先人が育み、受け継いできた文化を守り、見つめ直し、次の世代に伝えていきます。また、本市の多様な文化を地域の内外に広く発信していきます。

【視点2】

「育て・磨く」視点を大事にしています。

⇒本市に眠っている人的、物的な宝を掘り起こし、育て、磨き上げていきます。

【視点3】

「支え・創る」視点を大事にしています。

⇒新たな分野への挑戦、創造的な活動を支え、活かすことにより前橋の新しい文化を育てていきます。

【視点4】

「つながる・つなげる」視点を大事にしています。

⇒分野（ジャンル）や規模、活動者の多様性を担保し、受け入れられることにより生まれるつながりを他者につなげていきます。

2 大切にしていこう視点と具体的な取り組み

文化は芸術、教育、福祉、産業や観光などの経済といった生活全般の多岐にわたります。また、文化の振興にあたっては市民や文化活動団体のみならず企業、NPO、ボランティアなど様々な主体がそれぞれの役割を担っています。

多様なジャンルや様々な主体が互いの個性や創意を認め合い、交流や連携をとおして「つながる」ことで相互効果と相乗効果が期待できます。



分野（ジャンル）や規模、活動者の多様性を担保し、受け入れられることにより生まれるつながりを他者につなげていきます。

前橋市文化振興基本方針

前橋文化の創造や文化を基盤としたまちづくりを実現するため、文化振興条例における5つの基本理念と第七次総合計画における3つの行動指針を踏まえて、文化振興のために大切にしていこう4つの視点が示されている。令和3年（2021年）3月策定。2021年度から2028年度までが方針の期間とされている。

市長 邦楽も日本舞踊も吟

剣詩舞道も、みな同じ方向を向いているのですから、関係の部会が一緒になって発表するというのは、大変有意義なことだと思います。せっかくの機会ですから文化協会に所属していない文化団体のみなさんにもメッセージを発信し、多くの方々に鑑賞していただきたいものですね。

前橋文学館との連携

会長 はい。幅広く広報を行っていききたいと考えています。また、来年、前橋文学館が開催する萩原朔太郎大全のブースも文学館と連携して設ける予定になっています。これも「つながる・つなげる」といった視点からの取り組みになると考えています。さらに「つながる・つなげる」といった視点からもう一つ、これからの文化協会には、若い世代への取り組みが必要になると思っています。

若い人たちを導く環境をつくる

市長 若者への継承は、まさに伝えるという文化協会のアジェンダ（議題）の一つだと思います。また、継承とともに若者が自ら創り出すという視点も欠かせないでしょう。

会長 今はコロナで大変な状況もありますが、市内の小学生や中学生をはじめ、高校生や大学生も含めて若い人たちが文化にふれることの楽しさを経験できる機会を増やせるよう、ふれあい体験教室を発展、拡充させていくことが必要であると考えています。また、実際の作品展示や舞台発表の準備も含めて文化活動の企画運営に参加する機会を設け、そこに文化協会の経験豊かな会員のみなさんが支援協力するシステムを作っていければ、文化の継承に



加え、自ら創り出すことにつながると考えています。そういうところをコーディネートしていけるよう、文化協会として、本部役員や事務局が一緒になって検討するスタートの年にしたいと思っています。

市長 そうですね。若い人たちを導く環境をつくることは、これからの文化協会の大きな柱になるだろうと思います。

会長 胸をわくわくさせて文化活動に取り組んでいる

大人の顔を若い人たちが見ることは、別な観点から自分の生き方を考える機会になるのではないのでしょうか。

文化協会の今後の在り方を考えたとき、これまで文化協会では手がけてこなかった役割になりますが、文化協会が若い人たちをコーディネートする役割を担えるよう考えていかなければならないと思っています。

市長 そうですね。みなさんが楽しそうに取り組んでいる様子を見て、子どもた

ちが知らなかった文化に触れたり気づきを得たりできる機会の提供など、こういったところをもう少し積極的に取り入れていくべきかもしれませんね。もっとも文化が横につながっていくことは、すぐくおもしろいのだろうと思います。若者へのアプローチというのは、創立から40年を過ぎた文化協会のこれからの一番大きなメッセージとなるところかもしれませんね。

会長 文化協会では、前橋市の文化行政の基盤となる文化振興基本方針の実現に向けてさまざまな文化活動を企画、実践していくことでコロナ禍を超え、新しいスタートにしていききたいと考えています。本日は、お忙しい中、貴重な機会を設けていただき、ありがとうございます。

市長 創立40周年を迎えた文化協会のこれからの取り組みに期待しています。

ハレパネの貼り方は、
事務局の鈴木にお任せあれ！



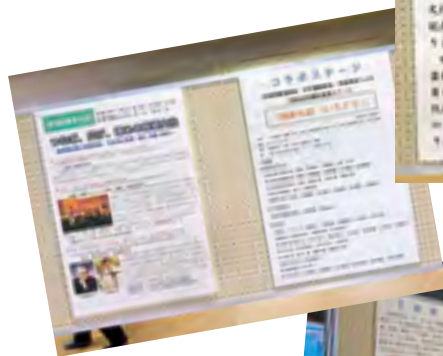
令和4年1月5日～18日の期間、前橋市役所1階のロビーにて、「創立40周年記念のつどいパネル展」を開催しました。

文化協会の主な事業についての紹介、「創立40周年記念のつどい」のゲストステージ・コラボステージなどの内容、各部会・支部の紹介などを掲示し、事前の告知を行いました。

パネル展

創立40周年記念のつどい 準備の足跡

各部会・支部の
熱い想いです!!
(本号のP.4～
P.7に掲載)



事務局のSNS担当
新井作成!!



動画はYouTube
からご覧いただけます



1月4日から、前橋市役所1階ロビー総合案内横のデジタルサイネージで、40周年記念のつどいの告知動画を放映しました。約1分程度の短い動画です。

デジタルサイネージ

ラジオ出演

1月21日18時から、まえばしCITYエフエムのラジオ番組に、清水会長・及川副会長・武藤書記が出演しました。30日の当日、舞台部門の司会をしていただく予定だった、パーソナリティー青柳美保さんの「Mwave Evening Express」という番組です。毎週金曜、けやきウォーク前橋のスタジオから生放送でお届けしております。次回開催時にも同番組で告知をいたしますので、ぜひお聞きください。



今こそつなぎ広げ深めよう

前橋文化の輪!!

プレ事業「短歌・俳句・川柳作品展」

令和2年度に、前橋市文化協会創立40周年記念プレ事業として、「短歌・俳句・川柳作品展」を会報『比刀祢』にて紙上開催いたしました。本作品展は、文化活動に親しみ、文化活動の魅力にふれる機会として、また、当文化協会の活動や会報『比刀祢』について一人でも多くの皆様に知っていただく機会として企画しました。

作品募集につきましては、市広報や当文化協会ホームページ、チラシなどをとおしてご案内しましたところ、小学校1年生から90代の方まで世代を超えてたくさんの皆様からご応募をいただきました。40周年記念のついででは、その入選作品の一部を展示する予定でした。一般の作品は、事前に搬入していただき、小中学生の

作品は、事務局で一覧にして作成いたしました。お預かりした作品は、事務局で大切に保管し、次回展示をさせていただきます。



小中学生の展示方法は、
齋木事務局長考案！
まっすぐ貼ることに
苦戦しました。



【記念冊子広告掲載企業一覧】 (50音順)

- | | |
|----------------|--------------|
| ・ 朝日印刷工業株式会社 | ・ カネコ種苗株式会社 |
| ・ 群馬トヨペット株式会社 | ・ 株式会社東和銀行 |
| ・ 株式会社登利平 | ・ なかざと歯科医院 |
| ・ 星野総合商事株式会社 | ・ 株式会社ヤマト |
| ・ 株式会社ユニバースサイン | ・ 株式会社ワカイカメラ |

チラシと記念冊子作成

チラシは、市内の公民館、出演者・出品者等の関係者へ配布しました。

記念冊子については、次回作成予定です。なお、記念冊子の広告は、10社の企業よりご協力をいただきました。感謝申し上げます。